

ホクコーリゾレックス®粉剤

■種類名：トルクロホスメチル粉剤
■有効成分：トルクロホスメチル ----- 5.0%
■化管法指定物質：トルクロホスメチル [第1種] ----- 5.0%

■登録番号：第16886号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：1987.10.21
■性状：類白色粉末 45μm以下
■有効年限：5年
■包装：3kg×8袋、20kg×1袋

【特長】

- リゾクトニア病害に卓効を示す土壌処理剤で、予防的な処理で効果を示す。
- 各種野菜の苗立枯病、根菜、葉菜類のリゾクトニア病害に有効。
- 幅広い作物に適用があり、一部作物を除き、は種または植付け直前に使用可能。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルコハチを含む農薬の総使用回数	
麦類	雪腐小粒菌核病	3kg/10a	根雪前	2回以内	散布	2回以内	
そば	立枯病	20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回	
てんさい	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	125～250g/10a 分の 用土約 280 ㍓			ペーパーポット 用の用土 又は覆土 に均一に 混和	6回以内 (育苗土壌への混和は 1回以内、500 倍希釈 灌注は 1回以内、100 倍希釈灌注は 1回以 内、散布は 3回以内)	
		75～150g/10a 分の 覆土約 20 ㍓					
		50～100g/10a 分の 突起板使用覆土 約 7 ㍓					
はくさい	尻腐病	20～30kg/10a	定植前		全面処理 土壌混和	3回以内 (定植前の土壌 混和は 1回以内)	
トマト、なす きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	50～100g／㎡	は種前		土壌混和	1回	
ピーマン						4回以内 (種子粉衣は 1回以 内、は種前の土壌混和 及びは種時の土壌灌 注は合計 1回以内、株 元灌注は 2回以内)	
						1回	
うり類(漬物用)						白絹病	20～40kg/10a
ほうれんそう	株腐病	1回					
こまつな	リゾクトニア病	20～40kg/10a			定植前	土壌混和	3回以内 (種茎粉衣は 1回以内、 定植前の土壌混和は 1回以内、株元灌注は 1回以内)
みずな	尻腐病	30kg/10a					1回
ふき	白絹病	20～40kg/10a		植付前	種茎粉衣	3回以内 (種茎粉衣は 1回以内、 定植前の土壌混和は 1回以内、株元灌注は 1回以内)	
		種茎重量の 1%					
ねぎ		20～30kg/10a	土寄せ前 但し、 収穫 14 日前 まで	3回 以内	株元散布	3回以内	
	リゾクトニア 葉鞘腐敗病	30kg/10a					
たまねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40kg/10a	は種前	1回	全面処理 土壌混和	1回	
みつば	立枯病	20kg/10a			全面土壌 混和	2回以内 (は種前の土壌混和は 1回以内)	

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリコドマイルを含む農薬の総使用回数
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20～40kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回
にんじん	根腐病	20～40kg/10a				2回以内 (は種前は1回以内、 は種後は1回以内)
ごぼう	黒あざ病	40kg/10a				1回
エンダイブ	すそ枯病	30kg/10a	定植時	1回	作条処理 土壌混和	1回
うど	白絹病	3g/株	根株養成畑 定植前		根株粉衣	3回以内 (粉剤は1回以内、 水和剤は2回以内)
とうがん	実褐斑病	30kg/10a	収穫45日前 まで		土壌表面 散布	1回
だいおう	苗立枯症	150g/10a 分の突起 板使用覆土約12%	は種前		ペーパーポット用の覆土 に均一に 混和	
花き類・ 観葉植物	立枯病	50kg/10a	定植前		土壌混和	5回以内
スイートピー	腰折病					
シクラメン	苗立枯病 (リゾクトニア菌)					
チューリップ	葉腐病					

【効果・薬害等の注意】

- てんさいの苗立枯病防除に使用する場合、ピシウム菌、アファノマイセス菌、フザリウム菌に起因する苗立枯病には効果が劣るので、これらの菌が優占する圃場での使用はさけること。
- 野菜類の苗立枯病防除ではリゾクトニア菌による苗立枯病には有効であるが、他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るのでそれらによる苗立枯病の混発が予想される場合には、他の有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- ほうれんそうの株腐病防除に使用する場合、多発生条件では効果がやや劣ることがあるので、所定範囲での多い薬量を土壌混和すること。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないこと。
- カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用后14日間は入水しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本薬剤を施設で使用したあと、施設内に臭が残る場合には換気を行うこと。

【安全使用上の注意】

- ❖ 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋などを着用すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

作成日 1995年08月11日
改訂日 2023年01月23日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ホクコーリゾレックス粉剤
整理番号	1253-15
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(殺菌剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じんを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313) 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)
保管	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

他の危険有害性
重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし
情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
トルクロホスメチル粉剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
O-2,6-ジクロロ-p-トリル =O,O-ジメチル=ホスホロチオアール (一般名 トルクロホスメチル)	5.0%	$C_9H_{11}Cl_2O_3$ PS	-	4-(9)-127	57018-04-9
鉱物質微粉等	95.0%	-	-	-	-
結晶質シリカ(石英)	50-60%	SiO_2	(1)-548	既存	14808-60-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

気分が悪いときは、医師に連絡する。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項
医師に対する特別な注意事項

ばく露による二次災害の防止。
情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。

火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

火災時に有害ガスが発生するおそれがある。
消火作業は風上から行う。
火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

環境に対する注意事項	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。 大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋又はドラム缶等に回収する。 回収後の少量の残留物は、土砂又はおがくず等に吸収させる。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 作業衣を家に持ち帰ってはならない。

保管

安全な保管条件	涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料	容器を密閉して保管すること。
	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
鉍物性粉じん	$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ E 管理濃度 (mg/m ³) Q 遊離けい酸含有率(%)	0.03 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)	TWA 0.025 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)

設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
------	---

保護具

呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(粉末)
色	類白色
臭い	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし

自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	3.6(×5)
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	見掛け比重 0.60

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光、高温、多湿
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット(雄) LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
		ラット(雌) LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
	経皮	ラット(雄) LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
		ラット(雌) LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
皮膚腐食性／皮膚刺激性		皮膚刺激性試験(ウサギ)：軽度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		眼刺激性試験(ウサギ)：刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性		皮膚感作性試験(モルモット)：陰性
生殖細胞変異原性		混合物は区分2の結晶質シリカ(石英)を1.0%以上含有し、混合物としては区分2に該当する。
発がん性		混合物は区分1Aの結晶質シリカ(石英)を0.1%以上含有し、混合物としては区分1Aに該当する。
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		混合物は区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)の結晶質シリカ(石英)を10%以上含有し、混合物としては区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)に該当する。
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類：コイ	LC ₅₀ (96h)	> 2,000 mg/L
	甲殻類：オオミジンコ	EC ₅₀ (48h)	18 mg/L
	藻類：緑藻	EbC ₅₀ (0-72h)	20 mg/L
残留性・分解性		データなし	
生体蓄積性		データなし	
土壤中の移動性		データなし	
オゾン層への有害性		データなし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	非該当
	航空規制情報	非該当
国内規制	陸上規制情報	非該当
	海上規制情報	非該当
	航空規制情報	非該当
特別の安全対策	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。	
緊急時応急措置指針番号	171	

15. 適用法令	登録番号 第16886号
農薬取締法	名称等を表示すべき危険物及び有害物
労働安全衛生法	結晶質シリカ
	名称等を通知すべき危険物及び有害物
	結晶質シリカ
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質
	トルクロホスメチル(2023年4月1日以降)

16. その他の情報	
記載内容の問合せ先	会社名 北興化学工業株式会社
	担当部門 企画部 環境安全チーム
	電話番号 03-3279-5151
	FAX番号 03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499(情報料無料)

365日 24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365日 9～21時対応

医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923(1件2,000円)

365日 24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件2,000円)

365日 9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。